

SATOYAMA EXPERIENCE

Sustainability Report vol. 1

2021/Nov/1

私たちは、2020年1月より Travelife 認定プログラムと提携を開始し、国際的な持続可能性基準への準拠に向けて段階的に取り組むプロセスを開始しています。Travelife は、ツアーオペレーターと旅行代理店のための3段階の認定プログラムです。[(1) Travelife Engaged (2) Travelife Partner (3) Travelife Certified] 私たちは現在 (1) Travelife Engaged で、(2) Travelife Partner に向けて取り組んでいます。

本レポートは Travelife と提携以後の社内の持続可能性に関する取組を広く公表するために作成されています。それ以前より取り組んできたことと差別化するため、全体的な取り組みは「Sustainability Policy」を参照ください。

1. 持続可能な管理をするために

- ・ サステナビリティ・コーディネーターの業務を担当する社員を任命し、その役割や活動を明確化しました。同担当者は国際認定団体の基本的な持続可能性に関するトレーニングを受講し、試験に合格しました。(GSTC-STTP Exam)
また、担当者だけでなく、すべての従業員の手で持続可能性の取組を推進します。
- ・ 全てのお客様、ステークホルダーの皆様に向けたサステナビリティ・ミッション・ステートメントを公表しました。
- ・ 自然保護団体や地域づくり団体等の持続可能性への取組を支援します。
現在は電力会社を通じ、NPO 法人「Teach for Japan」へ使用電力料金の一部を寄付しています。
本年は、「重要文化財日下部民藝館・吉島家住宅」へのクラウドファンディングに寄付をしました。
- ・ 企業活動の社会・文化、経済、環境への悪影響を軽減し、従業員の健康・安全・やりがいを保証することを目指すための持続可能性の方針を定めました。
- ・ 全てのお客様、ステークホルダーの皆様、従業員に対して、持続可能性の方針を弊社ウェブサイトを通じて公開しました。
- ・ 自社の持続可能性を維持、向上させるため、目標、行動、方法、責任、時間の管理を具体的な行動計画を立てて、実践し始めました
- ・ 持続可能性の取組、結果、目標への達成状況の社内共有を始めました。また、電力や水の消費量や廃棄物の量等の情報を定期的に収集し、改善できる仕組みを整備しました。

2. 従業員の働きやすさの向上に向けて

- ・ 就業規則に「苦情申し立て」の項を追記しました。
- ・ フレックスタイム制、リモートワークを推進し、働く場所や時間に縛られない働き方を推進しています。
- ・ 飛騨市女性社会促進宣言認定を取得しました。この認定は、以下の取組に対して評価を得ました。
 - 産前産後休業及び育児休暇取得の推進
 - 育児中の女性社員が子育てと仕事の両立を可能とする、在宅勤務可能な IT 環境の構築
 - 子どもの病気、行事による遅刻、早退、休業申請の許可

3. 環境と地域への貢献に向けて

〈物品の購入に関して〉

- ・ 無駄な購入や使い過ぎを防ぐために、使い捨ての消耗品の使用量の測定を開始しました。
←使用量の測定表を作る
- ・ 物品の購入方針を策定しました。
品質が確保されて入手可能な場合は持続可能な商品やサービスを優先して購入、採用します。（例：リサイクル紙や FSC 認証、PEFC 認証などの持続可能性に配慮した商品）また、できる限り地域内で購入するようにします。
- ・ お客様に提供するコーヒー、紅茶、日本茶等は 100%以上、フェアトレード商品や国内で有機栽培されたものを採用しました。
- ・ 洗剤は、可能な限り無害で、富栄養化させず、生分解性でエコ表示のものに変更しました。
- ・ パンフレットの無駄を省くために、発行部数や配布状況を測定・記録し始めました。配布場所を厳選することで、発行部数の削減に取り組みます。また、SNS 等を活用し、パンフレットに頼らない集客を実践します。

〈電力に関して〉

- ・ CO2 排出ゼロの電力会社「ハチドリ電力」と契約しました。
- ・ 電力消費量削減方針を策定しました。
- ・ 電気の使用量及び CO2 の排出量を測定し、双方の削減に努めます。

- ・ 施設内の様々な場所で人感センサーを使った自動オン/オフシステムを採用し、無駄な電力消費を削減します。

〈水に関して〉

- ・ 水の使用量削減方針を策定しました。
←Sho 作成予定
- ・ 上下水道使用量を測定し、削減に努めます。

〈廃棄物に関して〉

- ・ 廃棄物の削減とリサイクルを促進する方針を策定しました。
- ・ 可燃ごみ・紙・プラスチック・カン・ビン・ペットボトルは確実に分別し、地域のルールに従って処理されます。それぞれの廃棄量を測定し、削減に努めます。
- ・ 浄水器を施設内共有スペースに設置しました。従業員だけでなく、施設を利用するすべての人が利用できるようにすることで、ペットボトル消費を削減します。
- ・ 食品の生ゴミはコンポストで処理し、肥料化し畑で使用し始めました。
- ・ 不必要な移動による CO2 排出を削減するために、在宅勤務やテレビ会議を奨励します。
- ・ ツアーの受付用紙、参加同意書はオンラインでの情報入力、管理に変更し紙の使用を廃止した。
- ・ ツアーの休憩時に各ゲストに渡していた手指消毒用のウェットティッシュを廃止し、アルコール消毒液の塗布に変更した。

〈施設に関して〉

- ・ 弊社、宿泊施設兼オフィスは国内法及び地域の建築規制要件に準拠して建築されました。
- ・ 地域に適した実現可能な持続可能な手法と材料を採用します。できうる限り、地域の伝統的な建築技法を採用することで、技術の継承の場にもなるようにしました。

〈お客様の移動に関して〉

- ・ 地域内交通を手配する場合、価格・快適性・時間等を考慮して、できうる限り持続可能な移動手段を採用し、お客様に提案し始めました。

4. アクティビティによる環境と地域への影響を最小限にするために

- ・ 私たちの提供するすべてのアクティビティは、地球環境や地域の文化、地域住民、

地域企業、地域の自然に配慮し、敬意を払って実施されます。そのために、持続可能性のためのアクティビティガイドライン「飛騨を訪れる前に知っておいて欲しいこと」をウェブサイトに掲載し、すべてのお客様がアクセスできるようにしました。

- ・ 世界遺産地域や国立公園、重要な伝統的建造物群保存地区などを訪れるような特別な配慮を要する地域で活動する場合は口頭でも必要に応じてお客様にガイドラインを提示します。
- ・ ツアーの持続可能性方針を定めました。すべてのツアーが方針に従って運営されます。
- ・ ツアーガイドはツアー内で、観光における持続可能性に関連する課題（動植物の保護、文化遺産、資源の利用など）、社会規範と価値観（チップ、服装マナー、写真撮影など）や、人権（性的搾取など）について、お客様に情報を伝え解説をします。
- ・ 持続可能性方針、アクティビティガイドラインを全てのガイド（提携ガイドを含む）が理解して活動します。
- ・ 私たちは飛騨地方を拠点とし、基本的に飛騨地域周辺でアクティビティを提供し、新たなプロダクトを開発する場合や他社との協業で他地域において事業展開をする場合も必ず該当観光地における持続可能性の側面を考慮します。観光によって、地域に負の影響を与えるような場所や観光商品は提供しません。

昨年追加された新規プログラムは以下の通りです。

- クラフトツアー：地域の伝統工芸品の製造・販売業者を巡るツアー
- はじめてキャンプ：キャンプ初心者に向けて、キャンプの始め方を指南。
- 乗鞍スカイライン eBike ツアー：中部山岳国立公園内、乗鞍スカイラインを eBike でヒルクライムサイクリングをするツアー。

5. お客様が安全に利用できるようにするために

- ・ ツアーで事故が起きた際に迅速に対応できるように、非常時用の「連絡先リスト」と「緊急時対応手順マニュアル」を作成し、ガイドが携行するようにしました。
- ・ 絶滅危惧種や歴史的・宗教的に重要な工芸品及び法律で取引が禁止されている商品に関する情報をウェブサイトに掲載し、お客様が情報にアクセスできるようにしました。
- ・ 持続可能な交通手段に関する情報をお客様に提供し始めました。お客様が不便にならない限り公共交通機関の利用を推奨します。